平成31年度 (令和1年)

事 業 報 告 書 (案)

社会福祉法人 福 陽 会 特別養護老人ホーム サンシャインビラ 短期入所生活介護 (ショートステイ)

目 次

1、基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2、基本方針・長期目標・・・・・・・・・・・・・2

3,	職員構成・・・・・・・・・・・・・・・・3
4,	会議・懇談会・委員会開催状況報告・・・・・・・4
5、	職員健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理・・・・4
6、	利用者外出・外泊・面会・保険者別入退所状況・・・・5
7、	看護・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
8,	生活相談員・・・・・・・・・・・・・・ 7
9,	介護支援専門員・・・・・・・・・・・・8
10,	1階・2階・3階フロア・・・・・・・・9
11,	リハビリ・・・・・・・・・・・ 1 2
12,	栄養・・・・・・・・・・・・・・ 1 3
13,	職員外部研修参加状況・内部研修・・・・・・・14
14,	苦情・事故・排泄・委員会報告・・・・・・・・16
	苦情・事故・排泄・委員会報告・・・・・・・・ 1 6 忘年会・職員旅行報告・・・・・・・・ 1 8
15,	
15, 16,	忘年会・職員旅行報告・・・・・・・・・・ 18
15, 16, 17,	忘年会・職員旅行報告・・・・・・・・・・ 1 8 クラブ活動・・・・・・・・ 1 9
15, 16, 17, 18,	忘年会・職員旅行報告・・・・・・・・・18 クラブ活動・・・・・・・・・19 防災・・・・・・・・・26
15, 16, 17, 18, 19,	忘年会・職員旅行報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
15, 16, 17, 18, 19,	忘年会・職員旅行報告・・・・・・・・・・・・・・・・18 クラブ活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・19 防災・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26 使用物品等・シーツ等リネン類の発注管理・・・・・・27 年間行事の実施状況・・・・・・・・・・・・28
15, 16, 17, 18, 19, 20,	 忘年会・職員旅行報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
15, 16, 17, 18, 19, 20,	忘年会・職員旅行報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

☆ 平成31 年度事業報告(総括)

☆ 1. 基本目標

本年度の重点目標である「敬う心を大切にする施設作り」を合言葉に全職員で福陽会の理念を実現 すべく取り組みを行いました。

利用者様の個性を大切に『その方らしい生活』を支援し、利用者様も職員も笑顔多く過ごすことができました。

運営面においては2月3日に東京都の実地検査を受け運営・会計・利用者サービス、全てにおいて 適正な仕事であることを確認していただき、指摘事項はありませんでした。

福陽会基本理念

- ① 利用者様の心身共に健康な生活を保持する
- ② 利用者様の個性を尊重した生活を配慮する
- ③ 生活に希望と生き甲斐を持てるよう環境の整備と季節感ある行事を行なう

朝礼時に、全員で、法人理念を唱和することで新人職員にまでにも福陽会の理念が周知しています。年間を通しての利用者様は以下の通りであす。

4 月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	合計
2923	3056	2987	3116	3097	3023	3102	3015	3086	3074	2846	3048	36373

年間の延利用者数は 36、373 人で、1日平均 99,4 人の利用者様にケアを提供させていただいた 結果となりました。

36、373 人の要介護度については、要介護度3の方が7185名・要介護4の方が12977名・要介護5 の方が16211名という結果になり、利用者様の重度化が進みました。

ターミナルケアの希望も多く、16名の方を看取らせていただきました。医療ニーズは今年度も高く 施設顧問医師への依存度が大きくありました。

ターミナルケアにより看取らせていただいた利用者様のご家族様等から感謝の言葉や満足の言葉 を沢山いただき、職員一同の励みとなりました。

今年度の大きな出来事としては、昨年 10 月の台風 19 号がありました。多摩川の水位が上がり水害を恐れて施設内での避難を行いました。

福生市からは、初めての避難指示が出ました。そこで、全利用者様に3階へ避難していただき一晩 過ごすことになり、1階と2階には誰一人居ない状況を作りました。

そのようなことは、初めての体験でしたが、幸い水害はなく利用者様も職員もみな無事に朝を迎えることが出来ました。

同様のことが起きても上部の階に避難出来ることが実証できた良い機会になりました。

その後、年が明け2月3日には東京都の実地検査があり、前回以降の振り返りが出来ました。

実地検査の結果、運営・会計・利用者サービス共に指摘事項は何もなく良好な状況を確認していた だきました。 また、2月末頃からは、新型コロナウイルスの感染症に対する感染防止策の強化が重要になり、その対応が現在も続いています。

新型コロナウイルスについては未知の物であり恐怖心を抱えながら、精神的な負担を感じつつも、 絶対に施設内には持ち込むことなく終息を迎えたいと、職員一同気を引き締めて対応しているとこ ろです。

初めて出会う新型コロナウイルスへの恐怖心が年度末まで続いていますが、施設顧問医師から 指導助言をいただき副理事長が中心となり各施設で統一した対応を行っています。

国・東京都・福生市等からの情報提供を受けながら「施設内には絶対にいれない」と強い思いで、 次年度も終息に向けて取り組んでいきます。

☆ 2 . **基本方針**

基本方針である「明るい笑顔の絶えない家族・ふれあいのある大きな家庭づくり」を目標に地域 社会との交流を深めました。

- ・職員一人ひとりが利用者様の意向を把握し、尊重するケア提供を行いました。 利用者様、ご家族様に満足していただくことで職員のモチベーションアップになりました。
- 各行事、地域の方々に参加していただき、地域との交流を深めました。
- ・尊厳の保持、自立の支援ができるよう職員の内部研修と OJT を強化し、職員の資質の向上が図れ 2月にあった東京都の実地検査において指摘事項はなく、日頃の仕事が正しいものと評価をして いただくことが出来ました。

☆3. **長期目標**

- (1) 法人理念の実現向け、副理事長を中心として、法人内の各事業所同志が連携を深めました。
- (2)地域との交流を大切に、福祉ニーズに応えるべく努め緊急入所等に対応する体制を作りました。 また、施設が地域に向けた活動に力を入れ、地域住民への施設紹介や中学生に対する施設利用 者様の理解のためのオリエンテーション等を実施しました。
- (3)職場内研修の充実により職員一人ひとりの意識向上が図れました。 職場内研修で、職員が講師を務めることで職員のやる気の向上につながりました。

☆ 職 員 構 成 令和2年3月31日現在

担 当 職		職名	職員	非 常 勤
	彭	党 顧 問 医		1
運営管理		産 業 医		1 (外部委託)
		施 設 長	1	
経理		事 務 長	1	
在 生	事務員		1	1
保守管理		介 助 員	1	1
	生	活相談員	1	1 (兼務)
	ケア	マネージャー	1 1 (兼務)	1 (兼務)
		リーダー	1	
	1 F	サブリーダー	_	7
		担 当 者	6	
介護		リーダー	1	
	2 F	サブリーダー	1	3
		担 当 者	5	
		リーダー	_	
	3 F	サブリーダー	1	1 2
		担 当 者	6	
		医 師		1 (施設顧問医) 2 (外部委託)
医務		看護主任	1	_
		看 護 師	3	_
		准看護師	1	1
	3	管 理 栄養 士	1	_
調理	調	理 員 リーダー	1	3
		調理員	3	J
IN AL THE SELECTION	柔	道 整 復 師	1	_
機能訓練		見学療法士		1

☆ 会議·懇談会·委員会開催状況報告書

介護保険法とその他法令や条例等を理解し、利用者様の安心で安全な生活支援を行うために職員間で 共通の認識を持つために各種会議と委員会を行いました。

• 運営会議	12 回	• 拘束廃止委員会	12 回
• 衛生会議	12 回	・褥そう防止委員会	12 回
• 感染症対策会議	12 回	• 厨房委員会	12 回
• 衛生委員会	12 回	・口腔衛生管理委員会	12 回
• 全体会議	12 回	・排せつ委員会	6 回
・入所判定会議	26 回	・ケアプラン会議	102 回
• 事故防止会議	44 回	• 利用者懇談会	6 回
・看取り介護会議	85 回	・主任リーダー会議	15 回
• 虐待防止会議	12 回	• 活動責任者委員会	0 回
• 苦情対策会議	12 回	・サービスマナー委員会	9 回
• 栄養会議	45 回	• 職員福利厚生委員会	0 回
• 防災会議	14 回	・その他会議	18 回
• 行事計画会議	12 回	• 利用者懇談会	6 回

職員の健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理

(1) 定期健康診断の実施

従前より、対象となる全職員に対し、労働安全衛生法上の定期健康診断を行っています。 平成31 年度は、4 月に67名、11月に夜勤業務を行う職員等30名が受診しました。

(2) 定期健康診断後の面接と結果に基づく保健指導等

定期健康診断の結果が明らかになる時期に、日本医師会認定産業医 高妻雅和医師((以下 産業医と表記)により 有所見者を対象に面接を行い、個別に健康教育・保健指導等が実施されました。

(3) 衛生会議の実施

月に一度、施設顧問医師の指導・助言により、衛生管理者が有所見の改善に向けた食生活等に関する プリントを配布し、健康管理に関する情報の提供を継続的に実施しています。

- (4) 館内の労働環境整備
- ① 年間を通じて空調整備を行い、インフルエンザ・ノロウィルス等の感染症対策・利用者及び職員の 体調管理の為に、温湿度管理やカビ対策を行っています。感染症が発生した場合は、蔓延防止の為の 指針を踏まえ各職員が機動的に行動できるように看護主任を中心に、網羅的な研修・指導を行います。
- ② 労働災害について対策を立て、職員全員で努力を継続しており、職員に危険が及ぶ状態にあると思われる備品・設備については、早めの報告により事故発生の防止に努めています。

職員の事故防止の為に日々、設備・備品の点検を行い不備や不具合にできる限り迅速に対応しています。

(5) メンタルヘルスについて

外部委託により、対象となる職員全員にストレスチェックを実施し、結果を集計しました。今後も 産業医からの指導を全職員に周知する為の努力をはじめとし、職員一人一人が施設内の変化を広い 視野で把握し、先見性を持った対応による労働環境改善ができるよう、実践的な労働衛生管理計画作 成を継続します。

(6) その他

新型コロナウイルスの感染症に対し、2月後半から感染予防策を強化して取り組みました。

☆ 利用者外出・外泊・面会状況

	外	出	外	泊		面 会	
	人数	延回数	人数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4	9	3	0	0	7 4	280	9, 3
5	0	0	1	5	7 2	283	9, 1
6	1 0	2	0	0	7 3	3 3 4	11, 1
7	1 0	3	0	0	7 2	3 5 3	11,4
8	5	2	0	0	6 9	3 9 4	12,7
9	1 7	5	0	0	7 2	369	12, 3
10	1 9	5	0	0	5 8	3 0 0	9, 7
11	6	2	0	0	7 3	3 5 6	11, 9
12	5	1	0	0	7 2	3 5 9	11,6
1	1 1	3	0	0	6 9	362	11,7
2	0	0	0	0	5 1	2 4 2	8, 6
3	3 6	3	0	0	5	2 4	0, 8
合 計	1 2 8	2 9	1	5	770	3 6 5 6	約10人

☆ **保険者別入退所状況**

		入 所		含死亡)	合 計		
市区町村	男	女	男	女	入所	退所	
昭島市	0	2	1	2	2	3	
あきる野市	0	0	0	2	0	2	
国立市	0	2	0	2	2	2	
東大和市	0	0	1	0	0	1	
小金井市	0	1	1	0	1	1	
府中市	0	1	0	0	1	0	
調布市	0	1	1	0	1	1	
日野市	0	0	0	1	0	1	
小平市	0	1	0	1	1	1	
八王子市	0	1	0	0	1	0	
目黒区	0	0	0	1	0	1	
川崎市中原区	0	0	0	1	0	1	
江戸川区	0	0	0	1	0	1	
福生市	6	1 0	3	5	1 6	8	
羽村市	0	1	0	1	1	1	
西東京市	0	1	0	0	1	0	
中央区	0	1	0	0	1	0	
杉並区	0	0	1	0	0	1	
世田谷区	0	0	0	1	0	1	
埼玉県日高市	0	1	0	0	1	0	
合計	6	2 3	8	1 8	2 9	2 6	

☆看 護

1、医務診察

定期な医務診察時、医師の診療を補助し健康管理・内服管理・処置等を迅速かつ適正に処理しました。

① 内科 金曜日 青山美穂医師 内科 (施設顧問医師)

木曜日 宗岡雅子医師 内科

② 精神科 月曜日 高妻雅和医師 精神科

③ 歯科 火·金曜日 若林偵子歯科医師 歯科

2、利用者の健康管理

- ① 月1回は医師の診察を受け、バイタルサインを測定し、経過報告をしました。
- ② 年一回の利用者健康診断を令和1年5月14日(火)に100名の利用者様が受けました。
- ③ 新入所の利用者様には入所時健診を、ご家族様等に説明し同意のもとで受けていただきました。健康診断の結果は施設顧問医師がご家族等へ説明してくださいました。

また、入所時にご家族様等は「緊急時・看取り介護時の医療行為等に関する意思確認書」と「看取り介護についての同意書」の説明を施設顧問医師から受け、同意の書類を作成しました。

- ④ 外部の医療機関受診や入院等は、ご家族様等の意向を尊重し相談しながら進めました。
- ⑤ 利用者様・ご家族等の希望を確認し、インフルエンザ予防接種を実施しました。(100 名)
- ⑥ 肺炎球菌の予防接種も、ご家族様等の希望を確認した上で、令和1年度に対象者8名が接種しました。
- ⑦ 利用者様の薬の管理と内服薬の服薬介助を行い、ナース不在時の朝薬等の服薬介助は介護 職員に指導・依頼しています。

3、口腔ケアの実施

利用者様の健康を保持増進するため、歯科医師・歯科衛生士と連携を図りました。歯科医師・歯科衛生士・看護師・看護職員・管理栄養士・ケアマネ・介護職員等多職種協働での実施により誤嚥の防止に役立ちました。新型コロナウイルスの防止対策の実施によりアイデンタルでの口腔ケアについてはその時々で状況を見ながら相談しながら進めました。

4、職員定期健康診断

- ① 職員は4月(全対象職員)と10月(夜勤業務に従事する職員)に健康診断を実施しました。健診結果は安全衛生会議で施設顧問医師の青山美穂医師より全体指導があるとともに、 異常所見に対しては、あきる台病院に委託している産業医の高妻雅和医師より個人面談 指導がありました。(6名)
- ② 職員のインフルエンザ予防接種は体質的に接種が出来ない者以外は56名接種しました。

5、感染症対策

- ① 施設顧問医師の指導助言のもと、感染症に対する内部研修の実施とマニュアルの改訂、内容の厳守により、全職員の意識を高め確実な対応実施と自己管理の強化に努めました。
- ② 感染症を持ち込まないという意識をもち、職員一人一人が感染対策の基本をしっかりと 行いました。

6、看取り介護の充実

- ① 手厚い看取り介護の実施が出来ました。
- ② 医師の診断のもと宣言にて利用者様・ご家族様等の希望により看取り介護を行いました。 令和1年度は16名の方を施設で看取らせていただきました。
- ③ 利用者様及びご家族等の意向を尊重し、多職種で連携して日々変化する様子をご家族様等へ密に連絡し、記録しました。
- ④ 看取り介護の終了後には、多職種で振り返りを行いました。ご家族様等からは、多くの 感謝の言葉をいただきました。

7、褥そう予防

- ① 年間8症例(持ち込み2症例)対象利用者様は完治しています。
- ② プレーデンスケールによりアセスメントし、計画に沿って対策を実施しました。
- ③ 急な状態の変化と退院後の発生件数が多く、来年度の課題として状態を予測して早期に対策を立てて予防するようにします。

8、その他

- ① 利用者様の心身の状態変化時等は必ずご家族等に連絡をし、連絡時の内容等は生活相談員が同席し記録に残しました。
- ② 長谷川式簡易スケールを用いて認知症の程度を確認し、医師に報告しました。 0点以外の方は、概ね3ヶ月毎に確認しました。
- ③ 医療ニーズの高い利用者様も施設顧問医師を中心とする連携により生活していただくこと が出来ました。(胃瘻からの経管栄養 2名 バルンカテーテル 1名)
- ④ バイタルサインや日々の状態変化は個人記録に入力して各部署との連携を強化しました。

☆ 生 活 相 談 員

平成31年度は「敬う心を大切にする施設作り」が全体目標として掲げられました。生活相談員として、利用者様一人一人が安心して自分らしく、ご自分が「敬われ大切にされている」と感じながら過ごせるように、日々の業務に取り組んできました。

業務の中でも、利用者様への相談援助は特に重要な位置を占めていると考えています。「話がある」と呼ばれた時にはすぐに出向いて話を伺い、直接的な苦情や要望はもちろん、その言葉の裏にある深い思いにも心を寄せるようにしました。ご自分からは訴えることが少ない方や会話の難しい方にもこまめに声をかけ、話の中から、またご家族様の情報から、その方のこれまでの歩みや今感じている思いを知るようにしました。

ご家族様に対しては、入所前の相談から始まり、施設での生活に関する様々な説明や相談、その後も変化に応じた連絡等で、多くの関わりを持つ必要があります。丁寧で、親切な対応を心がけ、信頼関係を築くように努めました。

現在、新型コロナウイルス感染症防止のために、面会を中止していますが、ご家族様との信頼関係により、ご理解とご協力を得ることが出来ています。利用者様に体調の変化がある時には医務と連携し、ナースからご家族への電話連絡の際に同席して記録を残しました。

特にターミナルケアの時期には、ご家族様の気持ちを受け止め、不安を支える支援を心がけました。 -7-

生活相談員の主要な役割である入所・退所の業務にも年間を通して取り組んできました。本年度、入所された方は 27 名でした。在宅から 4 名、病院から 11 名、介護老人保健施設から 7 名、有料老人ホームから 2 名、高齢者マンションから 1 名、グループホームから 1 名ケアハウスから 1 名でした。

また、退所された方は、28名でした。その内、病院に入院され退所となった方は11名で、他の介護老人福祉施設に入所された方が1名でした。令和2年の1月期までは高い稼働率を維持することができていましたが、その後、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染防止のために新規入所を停止しています。

利用者様の余暇活動にも携わりました。三大行事(観桜会、納涼祭、文化祭)、各種小行事、外 出の日、ドライブ、散歩、手作りおやつ、クラブ活動、利用者懇談会その他を計画し実施しま した。地域イベントへの参加、慰問の受入れも行いました。

他部署と協力し、防災とリスクマネジメントに取り組んできました。本年度は大きな出来事が 幾つかありました。10月には台風19号による豪雨のため多摩川の水位が上昇、市の避難勧告が 出され、1階、2階の利用者様を3階に誘導し一晩過ごしてもらいました。また新型コロナウイ ルス感染症の拡大により、ご家族の面会は中止、外部の業者やボランティアも来園停止となって います。

ご家族様とも連携を図り、利用者様の生活に支障が出ないように配慮してきました。

また、これまで、2階ホールで行ってきたイベントやクラブ等も階ごとに行い、感染防止の徹底を図ってきました。

本年度の重点課題の一つに「地域貢献」がありました。初めての試みとして東京都社会福祉協議会の「つながれ、ひろがれ、ちいきの輪 in TOKYO」事業に参加しました。

青梅市の泉中学校と協力し、9月に泉中学校で行われた中学生の「高齢者擬似体験並びに車イス体験活動」に職員4名で参加し、10月には生徒が施設に来て職場体験を行いました。

また、4月には市内で活動しているサークルの「学習会(特養を知る)」を催しました。

この他にも、市のイベントへの参加や、保育園との交流、地域ボランティアの受入れ、町会の お祭りでの交流等を通して、地域と利用者様を繋ぐ役割を果たしました。他に、大学生の介護等 体験、高校生のインターンシップ、初任者研修の実習等の受入れや指導を行いました。

昨年度から引き続き、東京都社会福祉協議会生活相談員研修委員会・秋川ブロックの幹事としての活動に携わりました。研修委員会に参加し、東京都の様々な施設の取り組みや課題を学び、ブロック内では研修会を企画・実施し、学びと情報交換の場を提供できたと思います。

2月には、東京都の実地検査がありました。

大きな指摘事項はなく、施設におけるサービスの提供に対して、温かな評価の言葉をいただき ました。

☆ 介護支援専門員

本年度目標「敬う心を大切にする施設作り」をケアプラン作成に反映できるよう意識しました。 介護支援専門員としての基本姿勢を意識させてくれる共通目標でもありました。

ご利用者様との関係を作っていくことを大切にし、お話を傾聴する姿勢を基本にし、

「この人は、私の話をしっかり聞いてくれる人」と思っていただき、語って頂けるよう努めました。

- ・ケアプランの作成をする上では、ご利用者様の困難な事や援助が必要なことは勿論のこと「できる事=その方の強み」と考え、その方らしさを支援していけるような内容で作成できるよう努めました。今後も多職種で協力しながら、取り組んでいきたいと思います。
- ・定期のケアプラン見直し(三ケ月、六カ月)実施は漏れなく行えました。 また、状態変化に伴うケアプランの変更も行えたと考えています。(6か月見直し172回)
- ・会議日程の作成に関し、ゆとりをもった件数(五件程度)になるよう日程調整を行いました。
- ・ターミナルケア (看取りケア)、褥瘡ケア、適宜プラン作成が行えました。 ターミナルケアの振り返りは、ひとつひとつのケースにつき検討が必要であり、今後も取り組 んでいきたいと思います。(ターミナル対象者 31 名、看取り 16 名)
- ・褥瘡ケアについては、モニタリング指標を用い、生活の様子も鑑み、作らない事を前提に予防 策を設定し実施しました。創部改善には各部署連携し対応をできるよう、今後もプランを作成 します。(実地検査時、褥瘡発症者8名、内2名持ち込み、令和2年4/1時点対象者なし)
- ・今年度は対象者がいませんでしたが、ミールラウンドについては、経口からの安全な食事摂取 が継続できるよう、各専門職が検討した結果を今後もプランに反映させていきます。
- ・ショートステイの受け入れについても、可能な限り、柔軟に対応が行えたと思います。 各部署の職員とも情報交換をし、ショートステイ利用期間中のプラン作成が行えました。
- ・介護保険の更新申請区と分変更申請の、認定調査への立ち合い、調査協力を都度行いました。 今後もスムーズな介護保険更新が行えるよう、実施していきます。
- ・2月に実地検査が行われ、指摘事項がない状態を確認してもらいました。 今後も記載記録に関しては、変更箇所等を加えながら、更に分かりやすい内容で作成できるよう 努めます。

☆ 1 階 フ<u>ロア</u>

利用者様の生活の中で深く関わりを持ち「安心・安全」に生活が送れるように「敬う心を大切にする施設作り」を合言葉として職員一丸となり目標達成向けて取り組みました。内部研修等の充実等により、一年間を通して職員の言葉遣いと利用者様への関わり方に変化が見られ、職員の意識改革が出来たと感じました。

- 2月に東京都の実地検査がありました。
- ・居室担当の役割

利用者様の心身状況等を話合い、アセスメントは、ケアプランにつながるという意識が高まりました。毎日の生活の中での様子を記録し、アセスメントを充実することが今後も課題です。 記録は忙しい中でも夜勤帯に行う等、時間を工夫して行いました。

リーダーから職員へ居室担当の役割をこれからも指導していきます。

・フロアーレク

食前に行う「嚥下体操」もレクの一環となり定着しています。

楽しく行えて明るい雰囲気になっているとともに、誤嚥防止にもつながっています。

月曜日と木曜日はカラオケの日とし、歌を唄ったり音楽を聴いたり体を動かしたりと、利用者様の生活を活性化することに役立ちました。

フロアー活動予算は、クリスマスのプレゼントとひな祭りの和菓子に使いました。

• 事故防止

今年度の1階フロアーは、ご自分で行動される方もあり転倒等のリスクがあり、見守りを強化しました。また、全介助状態の方への内出血等が目立ち移乗方法等の検討や周知徹底を図りました。 ヒヤリハットの報告により、人的な事故を起こさないように注意してきました。

食事、水分等の誤嚥に対しても多職種協働で事故を防止しました。

• 感染症予防

利用者様の手を洗うことを毎日の日課として定着させました。

職員の「1ケア1手洗い」は忙しい等という声もありましたが、感染予防と感染蔓延防止のために は必要不可欠と自覚して取り組んできました。

今回の新型コロナウイルについても内部研修で学んだことをしっかりと実行していきます。

· 人材育成

職員間で積極的に意見を出し合える環境があり、利用者本位のケア提供が新人職員にも伝わり 指導する職員も、指導を受ける職員も共に成長しあいました。定期的な面接時に双方で振り返りを 行い確認し、エルダーメンター制度により定着を図りました。

• 定型業務

利用者本位のケアを第一に考え、安全に生活していただけることに重点をおきました。特に、口腔ケアの充実を図りました。

・災害時に備えて

例年の防災対策が定着しているため、不都合はありませんでした。「安全」に対する職員の意識が高く、台風19号の時には避難誘導と協力体制に力を発揮できました。全利用者様が3階に避難し、無事に夜勤帯を過ごすことが出来ました。

・褥瘡の予防

褥瘡の発生リスクが見られたら、即対応するという体制があり、悪化の防止が出来ました。 しかし、新たに発生する褥瘡について、認識の甘さがありました。

今後は、できる前の予測を強化していきます。

・看取り介護

静養室が1階にあることから、お看取りをさせていただく機会が多くあることが1階フロアーの特徴です。利用者様とご家族様等が望む形の最期であるようにという想いで、ケアさせていただきました。ご遺族様からの感謝の言葉が職員の励みになりました。また、看取りは職員の精神的な負担も大きくあり振り返りや内部研修等により、職員の精神面への配慮に努めました。

☆ 2 階 フ ロ ア

「敬う心を大切にする施設作り」を目標に、職員間で協力し合い取り組みを行いました。 2月3日に東京都の実地検査があり、準備として環境整備等に力を入れました。

・尊厳を保持と自立の支援

2階フロアは、認知機能面での低下があっても、ご自分の意思を他者に伝えることが出来たり、 ご自分意思で行動することが出来るような利用者様が多く生活されています。そのような方々の 生活支援では意思を尊重し「その方らしい生活」が送れるということが大切と考えて一年間の取り 組みを行い、サービスマナー、プライバシー、個人情報の取り扱いに重点を置きフロアー内で職員 の意識を高めました。

・レクリエーション

日常的に充実していたとは言えず、今後も課題と考えます。

一人ひとりの意思もあるため、みんなで一緒というよりも小集団での趣味活動の形が適していると 考えます。

・居室担当の役割

空き時間を有効に活用し、環境を整備し、清潔に生活していただきました。

個人記録をもとにアセスメントし、ケアマネに提出し、プランの作成に役立ててもらいました。 今後も担当利用者の生活に責任を持ちます。

• 事故防止

ヒヤリハットは迅速に検証して予防策を立てて、その情報と予防策を職員間に周知徹底して 再度、同様なことがないようにとともに、次に大きな事故が起きないようにと考えて事故防止に 役立てました。しかし、今年度1件の骨折事故が起きてしまいました。

・ 感染症の予防

内部研修に参加することにより、知識と意識を高めることが出来ました。スタンダードプリコーションの徹底によりインフルエンザの流行期にも発症はありませんでした。

新型コロナウイルについては未知の部分もあり恐怖を感じていますが、決められたことをしっかり 実行し予防に努めます。

非常災害時に備えて

基本的なことを実行し、もしもの時に備えるという心構えです。

今年度に初めて体験した水害に対する避難の時のことを、今後の災害対策に役立てます。

☆ 3 階 フロア

「敬う心を大切にする施設作り」を合言葉に認知に障害を有する利用者様が、安心して安全に 生活していただくために職員一同力を合わせました。

人材育成と介護力の向上

新入職の正職員とパート職員は、エルダーメンター制度によりサブリーダーが中心となり育成に 取り組みました。

新人職員、中堅職員、ベテラン職員全ての職員が内部研修に参加し、支援方法の見直しや再確認ができ、知識と技術の向上が図れました。

・ 生活の活性化

職員は、内部研修等で認知症を学び、利用者様への理解を深め、その方に合ったコミュニケーション手段を用いてその方の気持ちを深く理解しようとしました。

生活のメリハリを大切にするよう、日々のフロアーレクに重点を置きました。

食事前の嚥下体操、週2回のカラオケ、ボールゲームや歌集を使っての歌の会等を利用者様の意向 を確認しながらレクリエーション活動を充実をしました。

フロアー活動予算は、クリスマスのプレゼントとひな祭りの和菓子に使い、どちらも利用者様に 喜んでいただきました。

年度末になり新型コロナウイルスの感染が心配になり、感染予防に力を入れました。カラオケ等での歌う機会をなくし、音楽は聞いて楽しみ、集まって行う種類のレクリエーションは避けたり控えたりとすることにより、リスクを少なくする対応をしています。

・ 感染症の予防

食事前後の手洗い介助やトイレ誘導後の手洗い介助や手指消毒が定着したことでインフルエンザ やその他の感染症予防にも役立っています。

また、職員自身が感染症の媒介者にならないように注意しています。新型コロナウイルスの感染 予防に対し改めて手指の消毒を強化しました。

• 事故防止

ご自身で動くことができる利用者様の転倒等のヒヤリハットがたくさんありました。その都度検証し、原因に対する予防策を立て、予防策を皆で実行することにより重大な事故が防げました。

・非常時に備えて

避難経路は常に片づけておき、整理整頓し、環境整備に力を入れました。

台風 19 号の時には、全利用者様が 3 階で避難生活をすることになり、職員は驚きましたが利用者様は皆様穏やかで一夜を過ごすことが出来ました。初めての試みでしたが今後の安心材料になりました。

・居室担当について

担当居室の環境整備、利用者様の生活の様子や心身の状態を個人記録に記録し、その記録を「ケアに活かす」ということを今後も責任もって行っていきます。

その他

2月3日に東京都の実地検査がありました。事前に清掃や片付けに力を入れたこともあり当日の 指摘事項がありませんでした。しかし片付け等をすることで少なからず利用者様へのケアに 影響が出たのではないかと思います。日頃からの環境整備が大切と思いました。

☆リハビリ

「リハビリが楽しい」「リハビリをやりたい」という利用者様の声を多く聞くことが出来ました。 上半期は一日の訓練者数が少なかったのですが、下半期には実施方法を工夫して安定した人数の 訓練を行うことが出来ました。

2月3日の実地検査においては、何も指摘事項がありませんでした。

- ・ 機能訓練実施記録、利用者様の状態、様子等パソコンに入力し、他職種と共通の認識を持つこと が出来ました。
- ・ケアプラン会議に出席し、各担当者と共に個別機能訓練計画を策定し、利用者様とご家族様に 説明して同意を得て実施することが出来ました。
- ・計画には利用者様、ご家族様等の要望や希望を可能な限り反映するようにし、訓練を行う際の利用者様の励みになりました。
- ・個別機能訓練計画は、3ヶ月以内のサイクルでの見直しと、状態の変更時に見直しをして、変更 点等を各職員と共通の認識が持てるようにという工夫をした用紙をフロアーに配布することで 情報を共有できました。
- ・ターミナルケアが開始となった利用者様の身体の負担軽減と心理的な安定を図れるような計画 で実施しました。
- ・個別の訓練においても、生活リハビリにおいても安全面に配慮して行いました。
- ・可動域訓練、ストレッチ、歩行訓練、筋力トレーニング等を平行棒、歩行器具等の用具を使用し 訓練を行い、終了後には疲労感等の様子観察をした。

・訓練の成果(令和2年3月31日現在)

(機能向上が見られた方 7名)

(機能が維持できた方 83名)

(機能が低下した方 7名)

- ・各行事では、音響、司会、出し物等を担当し、利用者様の心身の活性化と活動量の増加を促進 できました。
- ・褥瘡防止や車椅子のシーティング、福祉用具の選定等、多職種で検討や相談をして進めました。
- ・内部研修に積極的に参加したことで、特養での機能訓練の役割を理解し、2月にあった実地検査 にのぞめました、
- ・車椅子の一斉点検を行うとともに、年間を通して不具合があればその場で修理や修理依頼をし、 安全に快適に車椅子を使えるようにしました。
- ・標準感染予防策の徹底、訓練開始前には必ず利用者様にも手指消毒をお願いし、使用後の用具 もアルコール消毒を行い、感染予防に努めました。特に新型コロナウイルの拡大が深刻になる に従い、消毒の強化に努めました。
- ・専門職として運営会議に参加することにより施設運営について理解を深め、医務診察に参加させていただくことにより、利用者様の心身の状況を深く知ると共に施設顧問医師から理学療法の指示書をタイムリーにいただくことが出来ました。

(福趾用具一覧表)

車椅子	95台	
歩行器(シルバーカー含む)	16台	
杖(T字杖、多点杖)	13本	
ポータブルトイレ	6台	
体圧分散マット (ジェルマット含む)	2 2	
エアマット (自動体交機能付き含む)	1 1	
施設内のベッド数		
電動ベッド	103台	
手動ベッド	1台	
パイプベッド	1台	総数1

総数105台

☆栄養

- ・今年度の全体目標である「敬う心を大切にする施設作り」を実現できるよう厨房職員は利用者様を想いながら旬の食材を取り入れた季節感のあるメニューや家庭的で温かみのある食事内容・環境作り衛生面等に配慮し安心安全な食事を提供することを目標に平成31年度は業務に臨んできました。
 - 次年度も引き続き季節の食材を使用した献立、利用者様からの聞取りで得られたご意見や要望に沿える献立の作成を行っていきます。調理方法や食材の硬さ、食べやすい大きさ等の情報を職員間でしっかりと共有し、器や盛り付け等、見た目からも「おいしそう」「食べたい」と思っていただけるような食事提供を目標に業務に取り組んでいきます。また、調理の際は必ず2人以上で味見を行い、味付けや硬さ等の確認を行っています。
- ・食事を楽しんで召し上がって頂く為に、選択食や誕生日食・ラーメン(中華丼)の日の実施。

- ・季節に応じたおやつの提供、極細・ペースト食を召し上がる利用者様へ飲込みがしやすく見た目が良い ソフト食の提供も継続していきます。
- ■選択食等通常メニューと異なる食事提供の実施結果

選択食(ラーメン炒飯の選択も含む) :月2回以上

誕生日食 :月1回

変わりご飯 (丼・混ぜご飯) :月2回以上 パン・麺の日 :月2回以上

■予算管理

- ・給食食材費の予算内運営を目標に、在庫管理の徹底や使用食材の見直しを行いました。
- ・次年度も食材ロスや使用頻度が多い食材の価格変動等に注意し予算内運営を目指します。

■利用者様の健康管理

・月に1度の体重測定結果や年に1度の健康診断時アルブミン値・血液データの管理、食事摂取量の 把握で利用者様の栄養状態を確認しました。栄養状態に問題がある場合は、ケア会議や医務診察の際 に提起し医師や多職種で話し合いを行い状態改善や維持・向上に努めました。必要量を召し上がる ことが困難な利用者様に対し補食の提供を行い、負担を減らすことで経口摂取の維持ができていると 考えます。

■感染症の予防

・手洗い・うがいの徹底、厨房外へ出る際の服装、次亜塩素酸によるトイレの消毒、厨房内の衛生管理 厨房器具の消毒、体調チェックを行い、感染症予防に努め、厨房からの感染拡大に注意し取り組み ました。その結果、ノロウイルス等の感染症・食中毒の発症はありませんでした。

■ヒヤリハット件数

- ・前年度のヒヤリハット件数は合計で7件、苦情1件(食材の硬さ)でした。内容は、配膳ミス:5件 その他:2件(異物混入・配膳車移動時のミス)、今年度のヒヤリハット件数は配膳ミス:1件 その他:2件(異物混入・果実種混入)の合計3件となりました。
- ・次年度も配膳ミスや怪我のないよう、お互いに声かけを行いながら、引き続き利用者様に安心安全 な食事の提供ができるよう努力していきます。

☆ 職員外部研修参加状況

1 /2 43 An

○外部研修への参加は、知識・技術の向上に役立ち、研修に参加者した職員から参加しなかった 職員へ内容を伝達し、共通の認識を持てるようにしました。

4月11日	安全連転管埋者法定講習会	1名参加
4月18日	第2回認知症介護基礎研修	1名参加
4月19日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
5月17日	生活相談員研修委員会	1名参加
5月21日	安全運転管理者 定期総会並びに定期講習会	1名参加
5月20日	安全運転管理者定例講習会	1名参加
5月24日	認知症のある方の評価と機能訓練の展開	1名参加
5月30日	第2紫水園竣工式	1名参加
6月 6日	日々の業務の中にある地域とつながるヒント	1名参加
6月12日	生活相談員研修会「情報・意見交換」	1名参加

6月20日	介護報酬請求事務に関する研修会	1名参加
7月 1日	生活相談員研修会「ソーシャルワーク研修会」打ち合わす	1名参加
7月 8日	社会福祉会計簿記入門講座	1名参加
7月22日	会計基礎研修会	1名参加
7月23日	会計基礎研修会	1名参加
7月24日	会計基礎研修会	1名参加
7月28日	認知症多職種協働研修	1名参加
8月 8日	福祉会計研修「特養向け」	1名参加
8月23日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
8月25日	高齢者虐待防止研修	1名参加
8月26日	人権問題の基本的な理解に向けて	1名参加
9月20日	ソーシャルワーク研修会打ち合わせ	1名参加
	生活相談員研修会	
9月24日	社会福祉事業従事者人権研修Ⅱ	1名参加
10月18日	生活相談員研修会「職種間連携につて」	1名参加
11月15日	生活相談員研修委員会	1名参加
11月27日	共済会システム説明会	1名参加
12月 3日	生活相談員研修会	1名参加
12月17日	社用車による事故防止対策セミナー	1名参加
12月19日	介護報酬請求事務に関する研修(応用)	1名参加
1月15日	ソーシャルワーク研修会~みんなが笑顔で前向きになれる研	所修~ 1名参加
1月17日	生活相談員研修委員会	1名参加
2月 4日	福生高等学校定時制課程学校連絡協議会	1名参加
2月14日	生活相談員研修委員会	1名参加
*これ以降のタ	N部研修等の予定は、新型コロナウイルスの影響で中止になり)ました。

☆内部研修

職員としての心構え・基本理念・基本方針を正しく理解するために、研修委員会を中心に 介護職員の知識と技術の向上と全職員の資質の向上に取り組みました。 サービスマナーの実践で「敬う心を大切にする施設作り」を実現できました。

4月2	4 日	「法人理念・職業倫理」	4月26日	「守秘義務」
5月2	2 日	「サービスマナー」	5月24日	「認知症」
6月2	5 日	「感染症」	6月28日	「排せつケア」
7月	5 目	「介護課程」	7月24日	「褥そう予防」
8月	9 日	「入浴介助」	8月14日	「事故防止」
9月	6 日	「おむつの特性と当て方」	9月18日	「看取り介護」
10月	4 日	「虐待・拘束」	10月18日	「サービスマナー」
11月	1 日	「感染症」	11月20日	「守秘義務」
12月	6 目	「褥そう予防」	12月18日	「認知症」
12月2	0 日	「感染症」		

1月10日 「法人理念・職業倫理」 1月15日 「事故防止」

2月 7日 「介護課程」 2月19日 「看取り」

3月 6日 「口腔ケア」 3月18日 「身体拘束・虐待」

平成31年度の内部研修は、頻繁に行うことにより、正職員・非常勤職員ともに多くを学び合いました。学んだ知識と技術を仕事に活かせるように取り組み、質の高いサービス提供が出来ました。新入職員には入浴時のオリエンテーションを行い、エルダーメンター制度により指導担当者による指導と業務内で行うOJTの強化により、介護技術の習得が出来、新人職員の定着につながりました。

指導にあたる側の先輩も指導を受ける側の後輩も、共に学び合うことで職員間の良好な人間関係が構築されました。

また、新型コロナウイルスの感染症に対する、感染予防を強化するために実践的な「感染症」の 内部研修を2月末から3月に全職員に対して実施しました。

☆ 苦情報告

年間を通して、利用者様やご家族様・代理人様、第三者委員その他の方から、様々な苦情や不満、要望、意見等が寄せられました。その都度、真摯に受け止め、改善を図るようにしました。 その中でも特に施設全体で考察すべき苦情等については、毎月の苦情対策会議で取り上げ、その 苦情や意見の内容及び対応を報告し、問題点を話し合いました。

【会議で取り上げた主な苦情・要望・意見】

で施設のあり方に対する提言もいただきました。

【会議で取り上げた主な言	5情・要望・意見】
(1) 利用者様より	○職員の態度や言葉遣いに対する苦情、不満・・・・・8件
	○職員の業務に対する苦情、不満・・・・・・・・5件
	○他利用者への苦情・不満・・・・・・・・・・4件
	○環境等に対する不満・・・・・・・・・・・2件
	○要望 (外出、薬の管理、その他)・・・・・・・4件
	○評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・1件
(2) ご家族様より	○整容・衛生面に関する苦情・・・・・・・・・ 3件
	○利用者様の生活の関する要望・・・・・・・・1件
	○評価、及び感謝・・・・・・・・・・・・ 3件
(3) 第三者委員より	○施設内の雰囲気についての意見・・・・・・・・1件
(4) 職員より	○整容に関する意見・・・・・・・・・・・1件
利用者様、ご家族様から	らの苦情・要望は、施設サービスの現状を考える上で貴重な意見です。
日頃のケアを見直し、対	付応策の徹底を図るようにしました。ご家族様からは、利用者様のケア
に関する評価の言葉もい	いただきます。特に、退所の折にはこの施設でよかったとの感謝の言葉を
いただくことが多く、そ	それを全体に伝えることで励みを得ることができました。
毎月一回、第三者委員の	D方が来園し、利用者様の思いや考えを聞き取ってくださいました。

(2月、3月は感染防止のため中止しています)利用者様の率直な意見を聞き取り、第三者の立場

☆事故防止

事故及びヒヤリハット事例が起きると、発見者は当日の日直もしくは夜勤者に報告し、日勤帯であれば看護職員、機能訓練指導員、生活相談員等に連絡し、多職種で検証を行い、施設長に報告する体制が出来ています。

速やかに報告書を作成し、対応策もなるべく早く立てました。その後事例を振り返り、次の事故 防止のための対策を検討しました。

本年度のヒヤリハット事例は290件でした。内訳は転倒・転落89件、怪我(傷・内出血他)53件 危険行為・徘徊・トラブル26件、誤嚥・誤食・誤薬7件、その他115件でした。行政に報告書を 提出した事故は1件で、転倒による骨折で入院されましたが、現在は退院され以前の生活に戻って います。

事故防止会議は、施設顧問医師の指導により、毎週金曜日に開催しました。

施設内で起こった事故及びヒヤリハット事例を検証し、原因や問題点、対策も検討しました。 本年度は計 43 回開催しました。

事故及びヒヤリハット事例の中で、特に施設全体で検証すべき事例や、防止策の実施状況等は 毎月開催される事故防止委員会で取り扱いました。

☆排泄

排泄面の向上を目指し、プライバシーへの配慮と正しい排泄介助方法を学び、介護者としての心構 えと、技術の習得に取り組みました。

今年度は「乾清拭」という新しい考え方を取り入れました。新しい試みは従来の方法に慣れている と取り入れるのが大変というけいこうがありますが外部の講師による説明等により定着することが 出来ました。

☆ 委員会報告

「敬う心を大切にする、施設作り」を実現できるよう、利用者サービスの質の向上を目的として 各委員会を開催しました。

毎月1回、各部署の代表者で会議を開催し、検討事項や決定事項の周知徹底を図りました。

研修委員会

人材育成とサービスの質の向上に取り組みました。

エルダーメンター制度により、新人職員の指導にあたり、OJTを強化しました。

一般職員に対しては、毎月の全体会の時間を利用し内部研修を実施しました。内部研修時には、 勤務の調整により、一人でも多くの職員が出席できるようにしたことが、周知徹底と共通の認識 を持つという事に効果的でした。

正職員も非常勤職員も介護職以外の職員も全員で内部研修に参加することが出来ました。

口腔衛生管理

委員会の会議録と口腔機能維持管理にかかわる助言内容の会議録により、全介護職員とその他 関係職員が共通の認識を持てるようにしました。

褥瘡防止委員会

毎月委員会を行い、全職員に注意喚起できるように取り組みました。各部署の協力体制が出来 て、皮膚の状態に心配がある利用者様に対して早期対応に努めましたが、事前にリスクを予測 して予防する観点が不足していたと感じます。

拘束廃止委員会

拘束は長期にわたり「0」です。拘束を行なうことの弊害を職員全員が理解して介護サービス を提供しています。今後も意識を高く持ち、拘束「0」の状態を維持して行きます。

排泄委員会

排泄の向上に取り組みました。乾清拭を取り入れました。

サービスマナー委員会

一人ひとりがサービスマナーの重要性を理解して施設全体のサービスマナーが向上するために 活動しました。委員会メンバーで話し合い「標語」を作成し、実践しました。

厨房委員会

利用者様の「食」に対する、希望を少しでも実現に近づけることが出来るように、各部署で協力し、検討や相談をすすめました。利用者様の声を献立に反映しました。

活動責任者委員会

今年度は委員会としての活動はありませんでした。前任者の作ったマニュアルを参考に各担当者 が活動支援を行い、問題なく予定通りに進められました。

☆ 忘年会活動報告書

場 所: 昭島フォレストイン昭和館

日 時: 令和1年12月12日(木) 19:00 ~ 21:30

費用合計 : \(\forall \), 467, 495

参加人数 : 37名 1人当たり : \(\mathbf{\beta}\), 12, 635

- ・参加者は皆「楽しく飲み、楽しく食べ」心身ともにリフレッシュできました。
- ・法人内の他施設等との親睦も深めることができました。
- ・「永年勤続表彰」があり、永く働く喜びとなっています。

☆ 職員旅行活動報告書

場 所: 築地 ~ 帝国ホテル ~ お台場

日 程: 第1班 4月25日(木) 16名 · 第2班 5月23日(木) 14名

第3班 6月20日(木) 12名

参加人数 : 42名

費用合計 : \(\neg \cdot 1\), 089, 807 1人当たり \(\neg \cdot 25\), 947

幹事の感想

(1班) 幹事2名で、幹事の役割を分担しました。分担したことにより幹事の負担感が軽減できました。

- (2班) 事故なく楽しく過ごせました。
- (3班) 最後まで、楽しく研修旅行が出来ました。
- *車中用の菓子詰め合わせを事前に3班分を事務所で作ことで、当日の準備に余裕が持てました。

☆クラブ活動

それぞれの利用者様一人ひとりの生活の充実と、残存機能を発揮する場としてのクラブ活動を行い 生活の活性化を図ることが出来ました。

作品等が出来上がった時の達成感は「笑顔」に現れました。

各活動は、生活リハビリの一環として、機能維持に役立つとともに「その方らしさ」につながり 「自立の支援」「尊厳の保持」のための良い機会と有効な時間になりました。

☆茶道

活動回数	18回 参加延人数	207年	工 平均参加人数 11,5名				
活動報告	茶道クラブにとって、一番大きな活	5動の場であ	る「文化祭」に、たくさんお茶をたて				
	ることが出来ました。70個のお菓子が売り切れるほど盛況でした。						
	その他は例年通り実施できましたが、3月は新型コロナウイルスの影響で活動するこ						
	とができないことが残念でした。						
		活動報告 					
	内容		内 容				
4月	20日 19名	10 月	5日 12名				
			*文化祭に和菓子 70 個				
			(お客様・利用者様・ご家族様				
			ボランティアさん)				
参加人数	1 9名	参加人数	1 2名				
5 月	4日 11名、18日 10名	11月	2日 13名・16日 11名				
参加人数	2 1 名	参加人数	2 4 名				
6月	1日 11名・15日 11名	12 月	7日 14名・21日 11名				
参加人数	2 2名	参加人数	2 5 名				
7月	6日 12名	1月	11日 11名・25日 12名				
参加人数	1 2名	参加人数	2 3名				
8月	10日 11名・24日 12名	2 月	1日 12名・15日 12名				
参加人数	2 3 名	参加人数	2 4 名				
9月	21日 12名	3月	新型コロナウイルスの影響で中止				
参加人数	1 2名	参加人数	実施1回 - 名				

☆ <u>華 道</u>

<u> </u>							
活動回数	23回	参加延人数	262	名 平均参	加人数		11,3名
活動報告	舌動報告 講師のほかに2名のボランティアさんのお手伝いで、楽しく活動しました。						
			月別活動	力報告			
		内 容				内	容
4 月	活動2回			10 月	活動 2	回(文化祭))
参加人数			21名	参加人数			2 4 名
5 月	活動2回			11 月	活動1	回	
参加人数			22名	参加人数	活動		1 2名
6 月	活動2回			12 月	お正月	の花を活け、	、活動2回
参加人数			20名	参加人数			2 4 名
7月	活動2回			1月	活動3	口	
参加人数			21名	参加人数			36名
8月	活動2回			2月	活動3	口	
参加人数			22名	参加人数			36名
9月	活動2回			3 月	感染症	予防対策の	ため活動中止
参加人数			24名	参加人数			一名

☆ 書 道

	^ <u>B ~~</u>								
活動回数	21回 参加延人数	274名 平均参加人数		13名					
活動報告	新型コロナウイルスの流行でボランティアさんは無しで、各フロアーで行いました。								
	月別活動報告								
	内容		内 容						
4 月	17日 14名	10 月	2日 14名・ 9日	13 名					
参加人数	1 4名	参加人数	2 2 :	名					
5 月	1日 14名・15日15名	11月	6日 12名・20日	8名					
参加人数	2 9名	参加人数	2 0 :	名					
6 月	12日 14名・19日 18名	12 月	11日 12名・25日	11名					
参加人数	3 2名	参加人数	2 3:	名					
7月	3日 16名・17日 12名	1月	8日 14名・22日	13 名					
参加人数	28名	参加人数	2.7:	名					
8月	7日 13名・21日 16名	2月	12日 13名						
参加人数	28名	参加人数	1 3:	名					
9月	25日 13名	3 月	17日 11名・30日	8名					
参加人数	1 3名	参加人数	1 9 :	名					

☆ <u>紙 芝 居</u>

活動回数	9回 参加延人	数 422	名 平均参	加人数		47名
活動報告	昭和という時代の「遊	遊び」「風景」「	生活」「仕事	事」を思い	出せるように	1実施しました。
		月別沒	舌動報告			
	内	容			内	容
4月	30 日 20 名		10 月	31 日 52	2名	
参加人数		20名	参加人数			5 2 名
5月	未実施		11月	25 日 32	2名	
参加人数		一名	参加人数			3 2 名
6 月	未実施		12 月	未実施		
参加人数		一名	参加人数			一名
7月	25 日 29 名		1月	11 日 18	3名・22日	29 名
				23 日 32	2名	
参加人数		29名	参加人数			79名
8月	30 日 58 名		2月	27 日 66	3名	
		58名	参加人数			66名
9月	23 日		3 月	23 日 28	3名	
参加人数		48名	参加人数			28名

☆ 音楽療法

			<u> </u>
活動回数	19回 参加延人数 35	9名 平均	参加人数 18,8名
活動報告	講師の指導により、参加者は楽し	い時間を過ご	゛しました。
	月別	活動報告	
	内 容		内容
4 月	30日 19名	10 月	17日 21名・31日 15名
参加人数	1 9名	参加人数	3 6名
5 月	9日 23名	11月	21日 15名・28日 19名
参加人数	2 3 名	参加人数	3 4名
6 月	13日 27名・20日 26名	12 月	12日 7名・19日 16名
参加人数	5 3 名	参加人数	2 3名
7月	4日 21名・18日 18名	1月	16日 13名・30日 10名
参加人数	3 9名	参加人数	2 3名
8月	22日 20名・29日 31名	2 月	13日 16名
参加人数	5 1 名	参加人数	1 6名
9月	12日 20名・19日 22名	3 月	感染症の予防対策のため未実施
参加人数	4 2名	参加人数	一名

☆ <u>スポーツ</u>

活動回数	18回	参加延人数	5 4 2	名 平均参	ѷ加人数			3 0名	
活動報告	・運動会を 6	・運動会を6月14日に行い勝敗の白熱と応援合戦で盛り上がりました。							
	・4月から8	月は2階ホー	ルに各フ	ロアーから	利用者様	が集まって気	実施 しま	ミした。	
	月別活動報告								
	P	勺 容				内	容		
4 月	28 日 26 名			10 月	6 日 4	3名・27日	39名		
参加人数		2	26名	参加人数				3 2 名	
5 月	20 日 30 名			11月	3 日 1	2名・14日	28名		
参加人数			30名	参加人数				40名	
6 月	16日 21名	・30 日 33 名	,	12 月	風邪予	防で未実施			
参加人数			54名	参加人数				0名	
7月	8日17名・1	4日18名・		1月	風邪予	坊で未実施			
参加人数		3	6名	参加人数				0名	
8月	11日 18名	•16日 29名	, 1	2月	9日 5	9名・16日	44名		
参加人数			47名	参加人数				102名	
9月	1日 39名・	7日 36名		3 月	15 日	52 名			
参加人数			75名	参加人数				5 2名	

☆カラオケ♪

活動回数	9回	参加延人数	186名	平均参加人数	20名				
活動報告	3月は新型コロナウイルスの感染を防止する策として、参加前に体温測定を行い、								
	マイクも1回ごとに消毒をしました。								
		月別沒	舌動報告						
	内	容		内 容					
4 月	_		10 月	24日 22名					
参加人数		一名	参加人数	2 2	名				
5 月	29日 20名		11月	26日 29名					
参加人数	2	0名	参加人数	2 9	名				
6月	24日 17名		12 月	23日 14名					
参加人数	-	17名	参加人数	1 4	名				
7月	14日 25名		1月	_					
参加人数	<i>4</i>	2 5名	参加人数		名				
8月	15日 27名		2 月	_					
参加人数	6	27名	参加人数		名				
9月	1日 18名		3 月	11日 14名					
参加人数	1	18名	参加人数	14	名				

☆手作りおやつ

活動回数	12 回	参加延人数	82	27名	平均	参加人数	68, 9名	
活動報告	食べたいものを聞きながら「家庭の味」「やさしい味」の物を作りました。							
	風邪の流行	が心配される1	0月から	はフロ	コアー	ごとに 2 階	ホールに来てもらいました。	
	また、新型	コロナウイルス	の予防	策とし	て、3	月は各フロ	アーへの出前方式で行い	
	ました。							
			月別	活動幸	報告			
	P	为 容					内 容	
4月	ミルク餅			10	月	白玉あずき	<u> </u>	
参加人数	13 目(61名)		参加	人数	7 日	(73名)	
5 月	バナナケー	+		11	月	フワフワト	ドーナツ	
参加人数	27 日(58名)		参加	人数	25 日	(57名)	
6月	白玉抹茶ア	イス添え		12	月	みたらし	刊 了	
参加人数	25 日(65 名)		参加	人数	16 日	(58名)	
7 月	フレンチト	ースト		1)	Ħ	お汁粉		
参加人数	22 目 (68 名)		参加	人数	13 日	(87名)	
8月	そうめん			2	月 月	どら焼き		
参加人数	5 日	(75名)		参加	人数	17 日	(85名)	
9月	お好み焼き			3)	=	白玉あんみ	ナつ	
参加人数	2 日	(70名)		参加	人数	23 日	(70名)	

☆ ラ ジ オ 体 操

朝のラジオ体操を行ないました。(1階が月曜日と木曜日、2回が火曜日と金曜日、3階が水曜日) 担当者と利用者様が一緒にラジオ体操を行なうことで、利用者様の健康維持と職員との関係を 良好に保つことを目的とし活動しました。

各フロアーでの実施でしたので、新型コロナウイルスの影響はありませんでした。

*年間合計 169回 3132名参加 (平均参加者 18,5人)

			·
実施月	参加人数	実施月	参加人数
4月	10回 137名	10月	20 回 380 名
5月	14回 237名	11月	17 回 287 名
6月	13回 245名	12月	9回 179名
7月	15 回 285 名	1月	14 回 285 名
8月	12回 222名	2月	15 回 295 名
9月	11回 222名	3月	19 回 358 名

☆外出の日

活動回数	20 回	参加延人数	142 名	平均	多加人数	7, 1名		
活動報告	外出先の決定	三は「季節に合	わせた外出	出場所「利	用者様の希望	用者様の希望の外出先」「車椅子の方		
	でも安心して	(楽しめるとこ	ろに設定し	しました。				
	第三者評価で	での利用者様の	意見として	て「外出し	たい」とい	う声があったことを受けて		
	今年度は昨年	=度よりも多く	の外出機会	会を持てる	ように日程を	を調整し、実施しました。		
	月別活動報告							
		内 容				内 容		
4 月	7日 第2サ	ンシャインビ	ラ	10 月	8 日 羽木	村の図書館 5名参加		
	観桜会	5 :	名参加		9日 羽材	寸の堰		
	20 日第 3 サン	ンシャインビラ	7		に	ドライブ 4名参加		
	観桜会	3 :	名参加		17 日 杉	の子第3保育園		
						5名参加		
参加人数	2 回	8名		参加人数		14名		
5月		_		11月		3 サンシャインビラ		
						化祭 3名参加		
					19 日 羽	村サンキ 買い物		
t. 1						3 名参加		
参加人数				参加人数		6名		
6月		家レストラン		12 月		二家レストラン		
	午後∅)ティタイム -	· + + + + -		十	後のティタイム		
	00 日 岩本		5名参加			5 名参加		
	28 日 福老記		5名参加					
参加人数	2 回	光子 10 名		参加人数	1 回			
7月		サンシャインと		1月	熊川神	·		
	²⁰		- ノ ! 名参加	1 /3	3日初記			
		ボーマーマー D湯「足湯」			5日 初記			
	OV H MRI	~ M	0 / D 39 / JH		-	指 4名参加		
参加人数	2 回	9名		参加人数		11名		
8月	7日 羽村シ	/ョッピングセ	ンター	2月		_		
	買い物	b 4	名参加					
参加人数	1 回	4名		参加人数				
9月	8日 福生市	敬老会	5 名参加	3 月	22 日 多	摩川中央公園散歩		
	20 日 消防領	審査会 .	4名参加			12 名参加		
	28 日 多摩/	中央公園 散	女 歩		25 日 同]上 12名参加		
		6	名参加		26 日 同]上 12名参加		
参加人数	3 回	15名		参加人数	3 回	36名		

☆ <u>工 作</u>

	<u> </u>							
活動回数	参加延人数 14	3名	平均参	>加人数	11名			
	・個性的な作品が出来上がり達成感を味わいました。							
活動報告	・11月から3月までは、集まる	ることを	をせずに	二一つのフ	ロアーだけで行いました、			
		月	別活動]報告				
	内 容				内 容			
4 月	鯉のぼりを作りました。	10) 月	ペットボ	トルでマラカス作り			
参加人数	23 日 (4 名)	参力	几人数	29 日(15	5名)			
5月	アジサイの花を作る	11	月	クリスマ	スリースの作成			
参加人数	5日(5名)・28日(4名)	参力	几人数	25 日(13	(名)			
6 月	花火の装飾を作る	12	2月	正月用の	だるまの制作			
参加人数	14日(6名)・27日(15名)	参力	1人数	24 日 (8:	名)			
7月	トウモロコシの絵葉書作り	1.	月	節分用の	鬼の制作			
参加人数	23 日 (20 名)			20 日(16	5名)			
8月	ぶどうの実を制作	2	月	未実	施			
参加人数	26 日 (11 名)	参力	1人数	_				
9月	秋の絵のぬりえ	3 ,	月	しだれ桜	を作る			
参加人数	24 日 (20 名)	参力	1人数	22 日 (6:	名)			

☆ 園 芸

活動回数	8回	参加延人数	137名	平均参加	『人数 17,1名		7,1名	
活動報告	活動報告 草花や野菜で季節感を感じることが出来ました。							
	月別活動報告							
		内 容				内	容	
4月	5月9日に行	いました		10 月	施設の	庭で育てたス	マイカを収穫	
参加人数	5月9日	6名		参加人数	10	月1日	9名	
5 月	いちごが出来	そました		11 月	リモーネなどの柑橘類の収穫			
参加人数	5月13	日 10名		参加人数	11月13日 10名			
6 月	雨が続き活動	が出来ませんで	した	12 月	感染症	予防の季節の	つため計画無し	
参加人数		一名		参加人数		-	-	
7月	ピーマン・ブ	ース・ゴーヤを収	穫	1月	感染症	予防の季節の	つため計画無し	
参加人数	7月14日	日 42名		参加人数		_	-	
8月	ゴーヤ・ミニ	ニトマトを収穫		2月	感染症	予防の季節の	つため計画無し	
参加人数	8月1日	40名		参加人数				
9月	施設の庭の彼	皮岸花を観賞。		3 月	感染症	予防の季節の	つため計画無し	
参加人数	9月14日	日 20名		参加人数			_	

☆防災

「突然大きな地震に襲われる」「火災が発生する」「不審者が侵入する」等々を想定して、例年 訓練を行っています。今年度は施設開設以来初めて、台風による避難指示がありました。 多摩川の水位が上がり洪水の危険性が高くなったということで、1階の利用者様30名と2階の 利用者様36名が全員3階に避難し、避難したまま一晩過ごすことになり、全員分のベッドを3階 に移動し、夜勤の職員も全員3階で利用者様のケアにあたりました。

夜が明け、台風もおさまり避難指示が解除になりました。台風による洪水の被害は、今まで想定していなかったことですが出勤中の職員同士が協力し合い無事に乗り切ることが出来ました。 どのような場合でも、事業が継続できる組織であるようにと考え、訓練に取り組むとともに新たな経験をしたことが、今後の役に立つということになりました。

1. 訓練の記録

4月10日(総合訓練・夜勤帯・火災・地震・受傷)5月17日(通報訓練・避難訓練・日勤帯・火災・地震)7月25日(平成31年度自衛消防訓練審査会に伴う事前説明会)7月30日~8月15日8月15日(地震発生・火災発生・初期消火等自衛消防訓練審査会にむけて9回の訓練を行った)8月16日~8月31日8月31日(同上の訓練を8回行った)

9月 1日~

9月15日 (同上の訓練を10回行った)

9月20日 (自衛消防訓練審査会出場)

9月30日 (炊き出し訓練)

10月12日~

10月13日 (避難訓練・台風19号による洪水を想定し全利用者様が3階に避難し 一晩過ごした)

12月 3日 (消火訓練・日勤帯)

 1月10日
 (消火訓練・避難訓練・日勤帯)

 2月24日
 (地震発生・避難訓練・夜勤帯)

* 3月は新型コロナウイルスの感染防止のため、訓練を中止しました。

2. 防災会議の記録

4 月24日 · 5 月22日 · 5 月31日 · 6月26日 · 7月24日 · 8月14日 · 9月18日 · 10月16日 · 11月20日 · 12月18日 · 1月15日 · 2月19日 · 2月28日 · 3月18日 ·

3. 不審者対策

・不審者対策用具の「こない手」を事務所と各フロアーに設置しました。

☆ 使用物品等

日常的に使う使用物品の在庫が少なくなると事務所に連絡が来ます。事務所で物品を発注し、納品された物品は、介助員が所定の場所に片づけて管理をしました。

物品を持ち出したときに、物品を持ち出した職員が持ち出した記録を行いますが、記入漏れが 多く物品の残数が合わずに、管理が十分に出来ない状態が続いていました。

解決策として記入用紙を書きやすく分かりやすいように工夫し、来年度に試用してみることに します。

☆ シーツ等リネン類の発注管理

シーツ交換は、業者に委託しています。

リネン類の在庫等の数量管理も委託先の業者が行っています。

定期的なシーツ交換以外のシーツ交換は、介護職員が行い、利用者様の寝具類を心地よい状態に保っています。

環境整備・感染症予防・褥瘡予防・安眠・事故防止等に配慮して清潔保持を支援しました。 3月からは新型コロナウイルスの感染防止のために、リネン類の配送の業者さんが施設に入らずに済むように工夫し、玄関先で納品していただき、職員が片付けることにしました。

☆おむつ等管理

リースの清拭布・紙おむつ類の使用については、職員全員がコスト意識を持ち、使用しています。 コスト意識は、排せつ委員の働きかけで、それぞれの職員の意識も高まっています。

無駄な使い方をしないように注意し合って、排せつ介助を行っています。

今年度は、新しい試みとして「乾清拭」を取り入れたことにより、温清拭を作るための機械を片付けることが出来て、介護材料室がすっきりとして使いやすい状態になりました。

そのうえ、温清拭を作る手間が省けたことの利点もあり、良い効果となりました。

☆ 年間行事の実施状況

	¥	平间打争の天旭仏仏	<u>*</u>	
行 事	実 施	内 訳	金額	小 計
	31年 4月14 日	通信費	7, 052	
観桜会	(日)	模擬店食材	129, 345	
	2 階ホール	公演等御礼	141, 137	277, 534
運動会	1年6月11日	パン食競争用		
	(火)	アンパン	13, 068	13, 068
	2 階ホール			
納涼祭	1年7月7日	通信費	4, 100	
	(日)	模擬店食材	155, 833	
	2 階ホール	公演等御礼	97, 548	257, 481
地域祭礼	1年7月27日			
	(土)	飲み物菓子等	19, 396	19, 396
	玄関前			
敬老会	1年9月15日	花	5,000	
	(日)	ケーキ	12, 181	
	2 階ホール	飲み物	1, 856	19, 037
文化祭	1年10月13日	通信費	4, 100	
	(日)	模擬店食材	171, 239	
	玄関・2階ホール	公演等御礼	64, 137	239, 476
クリスマス	1 年 12 月 23 日	ケーキと		
	(日)	シャンメリー	34, 093	34, 093
	各フロアー			
餅つき	1 年 12 月 28 日	もち米と		
	(土)	もち取り粉	2, 203	2, 203
	各フロアー			
正月	2年1月1.2.3日	門松.お飾り	64, 107	
	(祝.日.月)	花	3, 000	
	2階ホール	獅子舞お礼	10, 000	77, 107
	各フロアー			
節分祭	2年2月3日	鬼打ち豆	1, 296	
	(月)	その他	5,011	6, 307
	各フロアー			
ひな祭り	2年3月1日	あられ. 他	4, 977	
	(日)	花	3, 500	8, 477
	2階ホール			
	各フロアー			

合計 ¥ 954, 179

☆ ボランティア受入状況

毎年、たくさんのボランティアさんに活動していただいています。 ボランティアさんは、地域の方が多く、利用者様の地域交流の機会にもなっています。

- 4月 書道・華道・介護補助・レクリエーション・音楽療法・ 清掃・行事の手伝い・草笛等 25名 書道・華道・茶道・音楽療法・清掃・朗読・ゲーム・レクリエーション等 5月 14名 6月 書道・華道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 朗読・手作りおやつ・ゲーム等 27名 7月 書道・茶道・華道・音楽療法・清掃・草笛・行事の手伝い等 12名 8月 書道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 夏の体験ボランティア・あすなろ会左真紀一座の慰問等 39名 *あすなろ会左真紀一座の皆様は、施設開設以来毎年いらしてくださいます 9月 書道・茶道・音楽療法・ガーゼたたみ・地域の子どもたちの歌 朗読・清掃・ゲーム等 20名 10月 書道・茶道・音楽療・行事の手伝い等 24名 書道・茶道・音楽療法・清掃・ガールスカウトの慰問・行事の手伝い等 11月 33名 *ガールスカウトのかわいいお子さん達が毎年いらしてくださいます 12月 書道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 朗読・手すりドアノブ消毒等 11名 1月 書道・華道・音楽療法・清掃・ゲーム等 19名 *福生高校のボランティア部の生徒さんがいらして下さり、利用者様とオセロ等のゲーム の相手をしていただけます 2月 書道・華道・茶道・音楽療法・清掃ゲーム等 9名 3月 新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにボ、ランティアさんの活動をご遠慮いただ きました。
 - * 年間延べ、233名の方々にボランティア活動をしていただき、利用者様の生活の活性化 につながりました。

☆ 実習生・研修生受入記録

				·			
No.				実習依頼先	実習内容	人数	日数
1	R1	6/10	6/12	サンシャインビラ介護学院	初任者研修実習	4	2
2	R 1	8/ 5	8/16	東京都社会福祉協議会	教員免許介護体験	4	5
3	R 1	8/ 19	9 /1	東京心理音楽療法福祉専門学校	介護福祉課現場実習	3	10
4	R1	9/ 11	9/ 11	サンシャインビラ介護学院	初任者研修実習	2	1
					計	13	18

※ インターシップとして秋留台高等学校の生徒を受け入れた。

☆ 地域交流参加等の状況

4月 6	日	れんげ園の方が来園され、交流会を行う	(3名	
1 5	日	地域の皆様の勉強会を、施設の2階ホールで行う	8	3名	
		(高齢者の生活・高齢者の食事)			
1 8	日	杉の子第3保育園交流会に参加	2	5名	
6月18	日	れんげ園の方が来園され、交流会を行う		5名	
2 9	日	福老連芸能大会に参加		8名	
		(市民会館で開催される福生市老人会連合会の催し)			
7月30	日	志茂一町会祭り	8	2名	1
		(おみこし・山車・お囃子のご接待とその見学)			
8月 2	日	福生七夕まつり民謡パレード	2	3名	1
		(福陽会職員が参加、サンシャインビラからは23名参加)			
8月 3	日	福生七夕まつり竹飾り見学	1	0名	1
2 0	日	れんげ園の方が来園され、交流会を行う		4名	1
9月 5	日	杉の子第3保育園お楽しみ会に参加		8名	1
		(園児さんと一緒に遊ぶ)			
8	日	福生市敬老大会参加		9名	1
		(市民会館での催し、敬老を祝う)			
9	日	青梅泉中学校「福祉体験学習」 1	l 5	0名	1
		(職員4名で中学校に訪問し、中学生に高齢者支援について指導等行う)		
1 7	日	れんげ園の方が来園され、交流会を行う		5名	1
2 0	日	消防審査会参加	1	5名	1
11月29	日	加美地区 地域ケア会議		1 名]
		(台風19号の振り返り)			
12月12	日	福生第3中学校職場体験について		4名]
		(校長先生が来園され、高齢者体験等の検討と相談)			
1月 1	日	志茂一町会獅子舞とお囃子来園		1	5名
		(新年の恒例行事)			

* 冬期は風邪やインフルエンザの流行期のため地域交流は行いませんでした。 また、2月末からは新型コロナウイルスの感染症に対する防止策の実施により地域交流は ありませんでした。

☆設備改善及び備品購入状況

☆設備以善及び偏品購入状況							
項 目	月	日	件名	数 量	金額	使用場所	納入業者
	7	30	ゴミ置きプレハブ(大)	1	285, 120	職員通用口	金子設備工業
			ゴミ置きプレハブ(小)	1	210, 600	職員通用口	金子設備工業
備	10	30	湯沸かし器	1	180, 950	3 階	金子設備工業
	12	29	パソコン	3	320, 436	事務所	マイルストーン
品	3	19	シャトルバス(新湯)	1	2, 437, 614	機械浴室	デイーエヌ企 画
	3	19	シャトルバス用 シャワーチエア	2	2, 017, 386	機械浴室	デイーエヌ企 画
			小計		7, 156, 836		
設備改善費	10	8	理事長室 タイルカーペット工事	1式	255, 960	理事長室	金子設備工業
	8	23	エレベータースイッチ 交換工事	1式	135, 000	エレベーター 1 号機	エスイーシーエレベーター
	1	29	エレベーター リニューアル工事	1式	7, 884, 000	エレベーター 1 号機	ジャパンエレベ ーター サービ ス ホールディング ス
	1	31	ボイラー室 給湯ステンレス配管工事	1式	2, 475, 200	ボイラー室	金子設備工業
	1	31	機械浴室給湯管 新設配管工事	1式	735, 650	機械浴室	金子設備工業
			小 計		11, 485, 810		
合計			合 計		18, 642, 646		

☆ 短期入所生活介護事業報告

1. 基本方針

福陽会の理念である「その方が、その方らしく生活できる環境づくり」をモットーに、 利用者様が健康で笑顔あふれる日常を過ごせるよう目標を定める。

- ・利用者様の心身共に健康な生活を保持する。
- ・利用者様の個性を尊重した生活を配慮する。
- ・生活に希望と生きがいを持てるよう環境の整備と季節感のある行事を行う。
- (1) 月別利用者延人数調査

4月15名•5月31名•6月23名7月7名•8月35名•9月35名10月37名•11月27名•12月35名1月23名•2月27名•3月10名

1年間に、延べ人数で合計 305 名の方に利用していただき稼働率は 41,6%でした。制度の中でのベッド稼働を考え、地域のニーズに最大限応えられるようにと考えて緊急利用の利用者様の受け入れを積極的に行いました。

(2) 協力病院・地域の医療機関等と連携を図り、ご家族様とも協力し合い、健康管理を行いました。

2. **重点目標**

職員一同力を合わせてサービスの質の向上に取り組みました。

- (1) 緊急な入れを行いました。
- (2) 重度要介護者の受け入れも行いました。
- (3) 2床の短期入所生活介護のベッドのため、男女の組み合わせ等により短期入所を受けにくい場面もありました。
- (4) 内部研修と 0.JT を強化しました。
- (5) 各部署のチームワークが強化できました。

生活の場として安全であるよう環境を整え安心して過ごし、安心して居宅へ戻っていただけるよう、支援しました。